

令和8年度事業計画書

(令和8年2月1日から令和9年1月31日まで)

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第126回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり開催し，会期後にWebでアーカイブ配信を行う。

日時 令和8年4月23日～25日

場所 京王プラザホテル札幌 他（北海道札幌市）

参加予定者数 15,500名 演題予定数 3,500題

テーマ「新たな外科医療の共創—Co-creating new surgical fields and sciences」

- ・外科系サブスペシャルティ学会と「合同プログラム委員会」を開催し，学術集会の在り方の見直しを行う。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」として，日本医学会連合研究倫理審査委員会の「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を活用する。

②機関誌，論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を奇数月に電子ジャーナルとして発行し，希望により配本する。
- ・「日本外科学会雑誌」の過去分のアーカイブ化を継続して進める。
- ・Official Journal「Surgery Today」を毎月電子ジャーナルとして発行する。
- ・「Surgery Today」の専用のSNSを開設して，掲載論文の周知・広報活動を行う。
- ・「Surgery Today」の出版委託会社の変更に伴う引継ぎ作業を行う。
- ・Case Report誌「Surgical Case Reports」を毎月電子ジャーナルとして発行する。
- ・外科専門医試験の過去問題集を書籍化し，発刊する。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS), College of Surgeons of East, Central and Southern Africa (COSECSA), The Association of Surgeons of India (ASI), 韓国外科学会, 台湾外科学会, イタリア外科学会などと持続可能な学術交流を行い，若手外科医の交換発表などを行う。
- ・ACSのClinical Congressの会期中に，ACS日本支部と情報交換会を共催する。
- ・Royal College of Surgeons England (RCS)とInternational Surgical Training Programme (ISTP)のPartner Institutionについて再協議する。
- ・日本医学会，日本医学会連合，日本医療機能評価機構，日本女性外科医会の活動に積極的に参画する。
- ・外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して，外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・標準手術ビデオを作成して，「標準手術シリーズ」としてビデオライブラリーに掲載する。
- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に基づき，該当者から利益相反自己申告書を回収する。
- ・日本外科学会主導による研究論文のオーサーシップのルール化を図り，周知する。
- ・遠隔手術の社会実装に向けた研究を行う。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・日本専門医機構との業務契約の下、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行い、専攻医の研修状況を管理する。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催する（eラーニングを含む）と共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行う。
- ・日本専門医機構と協議の上で、外科専門医の連動更新の運用について、外科系サブスペシャリティ学会と共に検討する。
- ・日本専門医機構認定の外科専門医の一次審査を行う。
- ・日本外科学会認定の外科専門医の認定試験を文書審査によって実施する。
- ・受付システムを開発した上で、日本専門医機構認定の外科専門医の更新と、日本外科学会認定から日本専門医機構認定の外科専門医への移行の一次審査を行い、そのために必要な外科総論および手術手技に関するeラーニングを配信する。
- ・外科専門医制度に則り、指導医を選定し、認定登録医を登録する。
- ・外傷講習会をeラーニングで配信し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・臨床研究セミナーをeラーニングで配信する。
- ・Surgery Today の優秀論文賞（Best Surgery Today Award）を表彰する。
- ・Surgical Case Reports の優秀論文賞（Best Surgical Case Reports Award）を表彰する。
- ・Surgery Today の Citation Award を表彰する。
- ・Surgery Today と Surgical Case Reports のそれぞれの Best Reviewer Award を表彰する。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）を選考し、補助金を支給する。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）を選考し、補助金を支給する。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨るNCDデータを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務める。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・教育セミナーをeラーニングで配信する。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・関連学会と協働して、「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine）」に基づく Cadaver Surgical Training（CST）の普及を図ると共に、CSTを統括するための新たな法人を設立する。
- ・大規模イベントやマスコギャザリングに外傷外科チームを派遣する TSAT（Trauma Surgery Assistance Team；外傷外科手術派遣隊）を整備し、派遣研修を行う。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第4条第9号）

- ・広報活動として、参加体験型の市民講座「オペスル」を開催する。
- ・公式 SNS で周知・広報活動を行う。

⑩医療政策に関する建議（定款第4条第10号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力する。
- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として、死因の調査分析事業に協力する。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力する。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトの普及を図ると共に、厚生労働省の医師の働き方改革における集中的技能水準（C-2水準）の審査に協力する。
- ・Physician Assistant（PA）的な中間職種の国家資格化に向けた活動を支援する。
- ・NCD データを基に、新たな外科の医療提供体制について検討する。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・役員の選任を行う。
- ・健全な資産運用を行う。
- ・医学生や研修医のリクルートを目的とした Future Surgeons Club（FSC）の活動を行う。
- ・日本外科学会のインナーブランディングの強化を図る。